



東京活性化宣言!

東京都議会議員(小金井市選挙区)

西岡真一郎

2007(平成19)年10月

No.10

都議会レポート

発行 都議会民主政策調査会

所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784

平成19年 第3回定例会報告 特集号!

都民税軽減の「公約」撤回。石原知事の格差是正策を質す!

平成19年第3回定例会が10月5日に閉会。今定例会に先立ち、石原知事は、4月の知事選向けに打ち上げた「都民税所得割の軽減措置」を撤回したことが一つの争点となりました。知事は、「公約の進化だ」と強弁しましたが、「進化」というのであれば、具体的な低所得者対策を打ち出すべきです。しかし、知事は「決

して取り消したのではなく、あくまでも進化」と認めませんでした。民主党は、以前から職業訓練などの所得向上策やフリーター対策、非正規勤労者の待遇改善に取り組む企業へのインセンティブの充実などを提案してきました。また、生活保護受給者の自立促進を行う支援プログラムを推進するよう求めています。

西岡真一郎、都議会民主政策調査会副会長、都議会・財政委員会理事、平成18年度各会計決算特別委員に就任!

▶ 総務委員会副委員長として最後の質問に挑む!



西岡真一郎は、都議会民主党田中良幹事長からの指名にて、8月1日より都議会民主政策調査会副会長に

就任。2元代表制としての都議会の役割を強化し、石原都政のチェック機能向上、建設的な是々非々の立場で都議会民主党の政策を実現するため、大奮闘する決意です。さらに10月5日、都議会第3回定例会最終本会議にて財政委員会への所属が決定し、その後の委員会にて理事に就任。東京都の特別会計も含

めた総額13兆円にも及ぶ都財政全般を所管する委員会は身の引き締まる思い。健全財政の確立、複雑な税制、新たな財務諸表、バランスシート等の新公会計制度の導入、入札制度改革、国との対峙、予算編成等、課題は山積しています。財政委員会が所管する局は、財務局、主税局、会計管理局、収用委員会に関する事項。小金井市議会で大奮闘した行財政改革の貴重な経験も踏まえ、全力で取り組む所存であります。また都議会民主党議会改革プロジェクトチーム座長として、政務調査費の使途基準の明確化、領収書添付による透明性の確保を実現するために活発に活動を展開中。10月には平成18年度各会計決算特別委員会委員としても都政を厳しくチェックすべく奮闘して参ります。

西岡真一郎新政調副会長、産科医療問題や障害者政策に全力で取り組む!

●東京で産めなくなる前に都は全力を尽くせ!

国の病床規制や都の手続きの問題から産科医の開業が困難になっています。また職場環境や社会的風潮により産科医が多摩地域でも減少していることが判明。都議会民主党では西岡真一郎新政調副会長がこの問題を提起し、都内産科医療関係者からのヒアリングを精力的に実施。産科医療確保のため、医療法の特例規定を活用すること、病院開設に関する情報を公開し、意欲ある医師を歓迎する環境整備をすることを都議会代表質問等で強く求めました。さらに細かな点を総点検し、産科医療確保のため、できることは何でもやるべきと求めました。都は、都内でも医師が減少しており厳しいとの認識を示した上で、特例規定活用は都保健医療計画改定の中で検討し、病

床状況については、ホームページでの公開を検討すると答えました。

●真の自立支援を目指す障害者自立支援法を!

民主党は障害福祉サービス利用者の原則一割負担を廃止する障害者自立支援法改正案を参議院に提出。今後、政府・与党の対応が注目されます。法施行後の現場の状況も踏まえ、2年をかけて練り上げた法案です。都議会でも、多くのサービスを必要とする重度障害者ほど負担が重くなり、経済的に家族に依存せざるを得なくなる制度の問題を指摘し、介護従事者への報酬が低いため、官製ワーキングプアとなっていると問題点を代表質問に盛り込み、質しました。しかし、都は、民主党の指摘を現状追認するに終始する有様でした。

都議会民主党の取り組み

建築確認の厳格化で大混乱 新しい制度の円滑化を!

一昨年の耐震偽装事件を受けて建築基準法が改正され、建築確認や検査の厳格化が図られた新しい建築確認制度が始まっています。関連する政省令などの整備



が施行直前にずれ込み、建築確認手続きが滞るなど、関係実務者間で混乱が続いています。こ

の混乱に伴う建築投資の冷え込みは、景気に与える影響も大きいとの指摘もあります。民主党は、特定行政庁として都の建築確認手続きの円滑化を図ること、国に対して制度改善を働きかけていくことを求めました。

緑の募金基金条例にひと言

今定例会には、街路樹や海の森の整備のために「緑の募金基金条例」が提案されていますが、民主党は、「募金だけでなく、植樹や管理など、都民との協働こそが必要だ」と述べるとともに、「本当に必要であれば、一般財源を充当すべきだ」と主張しています。また、太陽エネルギーの利用拡大では、「国をリードして普及に向けた対策を打ち出すべき」と主張したのに対して、都は、「今後、太陽エネルギーの具体的な利用拡大方策について取りまとめていく」と積極的な答弁をしています。



築地市場の移転問題 公聴会で都民の意見を聴け!

築地市場の移転先とされる豊洲地区の土壌汚染問題で、都は、6月に専門家会議を立ち上げました。しかし、



専門家会議の委員数はわずか四名で、各分野の専門家も一人ずつしかいないため、専門的な意見のやりとりもなく、会議は低調です。また、八月から、

ようやく傍聴者の質問を受け付けるようになりましたが、質問回数の制限など、運営への不満の声が聞かれます。民主党は、公聴会を開催するなど、その他の専門家や都民の意見を聴くべきだと主張しています。

ものづくり人材の育成で中小企業の活性化を

大企業の新規採用が増え、中小企業の人材確保は困難になっています。民主党は、若者の人材確保に取り組む中小企業への支援の充実を主張。また、工業高校での施策の充実に向けて、教育長から「六郷高校で実施しているデュアルシステムの他校への導入を検討」「工業高校から大学進学に向けた指導の充実」などの確約を得ました。地域工場の活性化でも、「ものづくり産業の集積を図る区市町村に対する支援策を検討している」と都の前向きな答弁を得ています。

大地震への備えは万全か? 震災対策のさらなる充実を!

新潟県中越沖地震では、古い木造住宅に被害が集中しました。都でも木造住宅の耐震化が急がれますが、昨年度創設された都の木造住宅耐震化促進制度では、耐震改修に対する助成がたった22件しか利用されませんでした。民主党は、利用が進まない木造住宅耐震化促進制度について、「助成対象の範囲拡大など思い切った制度の拡充が必要だ」と主張。信頼できる耐震診断事務所の確保策、地震時の原発の停止問題に対する危機管理体制の強化についても質しました。

リタリン乱用阻止! 青少年の薬物依存根絶を

リタリンは、うつ病などの処方薬として用いられる薬ですが、覚醒剤と同じような効果をもたらす、依存性も高い薬です。これを十分な診察なしに安易に処方する診療所が問題とな

っていました。西岡真一郎は小金井市議会議員時代から、長年にわたり薬物乱用防止問題に真剣に取り組んできました。都議会予算特別委員会や東京都薬事審議会でも青少年の乱用問題を指摘し、具体的対策の強化を求めてきました。リタリンの他にも類似の作用を持つ薬があり、薬物乱用の根絶に向けて、不適切な処方を行う医療機関に対し、厳しく対処するよう求めました。



西岡真一郎総務委員会副委員長、活発な質問、意見、政策提案を展開!

【10月2日(火)総務委員会での質問要旨】

① 退職手当条例の改正について

西岡：死亡退職者等が重大な犯罪を行った場合に退職手当の不支給、一時差し止めを知事、警視總監など各任命権者が判断する改正。重大犯罪には退職手当を支給しないことは当然。生存の場合、裁判所等の判決で判断できるが、死亡した場合には判決等はない。不支給決定等は第三者機関の関与など適正な手続きが必要。

総務局人事部長：適正な手続きが必要。結論を出す。

② 2013年東京国体の準備状況について

西岡：2013年国体のメイン会場となる味の素スタジアムはJリーグ2チームのホームグラウンド。陸上競技施設として補助競技場新設とメインスタジアム改修が必要。リーグ試合に影響を与える。早期の協議が必要。

総務局国体推進部長：負担とならないよう調整する。

西岡：国体後の施設のあり方も重要。

部長：施設利用者や関係者等の意見を伺い今後検討。

西岡：都は「東京国体」という名称使用。東京の国体は多摩・島嶼地域の推進が契機。サブタイトルやスローガンに「多摩・島嶼」の概念が必要。

部長：東京都準備委員会において検討、決定。

西岡：国体の盛り上げが重要。多摩地域の東京国際スリーデーマーチ等、都民が選手として出場できるデモンストレーションの開催を提案する。

部長：調整する。

西岡：開催可能な競技に限ったプレ大会への開催費用等の支援も要望する。(財)日体協は2013年国体から、正式競技を毎年実施と隔年実施に分ける方針。国体改革は必要だが、2013年は計画通り開催すべき。

部長：着実に開催準備を進める。

西岡：三宅島でのトライアスロンの公開競技が実現。噴火以前からトライアスロン競技開催を目指してき

た。復興対策でもある。

部長：三宅島はトライアスロンに適した魅力。復興にインパクトを与える。

西岡：今は高濃度地区に配慮したコース設計。制限が解除された場合、外周道路が利用でき、競技の魅力が増す。コース変更を柔軟に受け入れるべき。

部長：三宅村と競技団体の協議。都も調整する。

西岡：国体への新しい取り組みや都の三宅村への支援体制を強く要望する。

③ 犯罪被害者支援推進計画について

西岡：犯罪被害者支援に取り組んできた。具体的支援策が必要。支援の対象者が不明確。犯罪被害者の範囲は。

総務局人権部長：我が国の刑罰法令に触れる犯罪行為及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為により被害を被った者、及びその家族又は遺族で、都民を原則。都内で被害に遭われた都民でない方々の相談も対象。

西岡：都条例も対象範囲にすべき。支援には被害後の生活保障が重要で、施策を具体化すべき。

部長：宿泊場所は被都が数案を提示す選択方法、宿泊費用は一定期間を限度に都負担も検討。

西岡：住民に最も身近な区市町村と連携した支援が必要だが、取組に温度差がある。

部長：各区市町村の主体的施策が重要。都の姿勢を示し、積極的取組の必要性等を説明。

西岡：実効性ある条例化が必要。



▲ 都議会筆頭委員会総務委員会副委員長として1年間大奮闘!

JR中央線連続立体高架化事業について

小金井市民待望のJR中央線高架化事業は、小金井エリアでは平成19年7月1日より下り線が高架橋へ移行しました。西岡真一郎も下り線高架化第1号列車に乗車し、視察を行いました。高架切替後の事業効果として、1) 踏切の遮断時間が平均で約4割減少、2) 13か所の踏切のうち6か所で「開かずの踏切」状態が解消、3) 小金井街道では、踏切の遮断時間により発生する最大渋滞長が約4割減少【切替前の最大渋滞長530m→切替後の最大渋滞長300m】、4) 踏切の長さが短縮、以上4点が東京都から

報告されています。なお、残念ながら、上り線の高架化切替時期が平成21年度末と大幅に遅れてしまうという報告が本会議で行われました。その理由として、駅利用者の安全確保を最優先に施工計画を見直し、当初予定していた昼間作業の多くを線路閉鎖後の作業(いわゆる夜間作業)に変更したことにより、工期を要することとなったことが挙げられています。今後は、関連まちづくりとの整合性等を踏まえて、この事業が着実かつ安全に実施されるよう引き続き取り組んで参ります。

西岡真一郎、視察研修の日々 (2007年7・8・9月)

【視察・研修・訪問先】

7月は参議院選挙に全力で取り組み、民主党は大勝利!

▶中央線下り線高架化始発列車に乗車の市民の皆さんとともに記念撮影



JR中央線下り線高架化切り替え始発列車、都立小金井養護学校、豊洲新市場予定地、東京都総合防災訓練(昭島会場)、民主党地方自治体議員

フォーラム、民主党青年議員交流会、民主党東京都連青年委員会、小金井青年会議所各種例会、倫理法人会経営者セミナー各種勉強会、聖進学院(サポートスクール)、薬物乱用防止勉強会、議会改革勉強会、都立小金

井工業高校、サイエンスライブショー青少年のための科学の祭典、東京都からの各種ヒアリング(新公会計制度及び財務諸表、東京



▶菅直人さんとともにサイエンスライブショーを訪問!

国体、犯罪被害者支援、中央線高架化、退職手当条例、駐車許可制度等)、都議会民主党主催各種団体予算要望ヒアリング活動(約70団体)、都議会民主政策調査



▲豊洲新市場予定地の環境調査現場を視察!

会勉強会(産科医療、障がい者自立支援法、介護保険制度、小児医療等)、小金井市自衛消防訓練発表会、他

常任・特別委員会・審議会 財政委員会理事、オリンピック招致特別委員会委員、東京都薬事審議会委員

会派 政策調査会副会長、議会改革プロジェクトチーム座長、島嶼振興等調査会委員他

議員連盟等 東京都議会花粉症対策推進議連幹事、東京都議会芸術文化振興議連幹事、東京都議会オリンピック招致推進議連委員、北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を図る東京都議会議員連盟委員、防災都市づくり推進計画・促進東京都議会議連委員、東京都男女共同参画社会推進議連委員、FC東京をサポートする東京都議会議員の会委員、東京都議会日韓議連委員、東京都議会東京多摩国体推進議員連盟委員

その他 北多摩南部地域保健医療協議会特別委員

【都議会民主党の集いのご案内】

都議会民主党の活動を充実させ、都政改革を更に進めていくため、ぜひ都議会民主党の集いにお越し下さい。参加できる方は西岡事務所まで御連絡下さい。資料等をお届けいたします。よろしく願い申し上げます。

- 日 時：11月22日(木) 午後6時開場、午後6時30分開宴
- 会 場：京王プラザホテル5階 コンコルドボールルーム
- 会 費：10,000円券または20,000円券(ペア)のどちらかをお選び下さい。

※この催事は、政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティーです。
※直接、振り込まれる場合は下記の口座までお振込みいただき、西岡真一郎事務所までご一報下さい。

◆みずほ銀行東京中央支店東京都庁出張所
口座(普通)1032928 名義：都議会民主党

西岡真一郎の役職・担当
(10月5日現在)

西岡真一郎プロフィール

●1969年武蔵野市生まれ・38歳/小金井市立南小・第二中学校、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業/自民党本部事務局・新党さきがけ本部事務局・最年少の小金井市議会議員2期8年(無所属)、議会運営委員会委員長等を歴任。青年会議所や薬物乱用防止等の多数の地域活動に従事。2005年7月の東京都議会議員選挙にて初当選(民主党公認)。

●特技：阿波踊り、趣味：映画鑑賞、スポーツ：トライアスロン

●地域活動：小金井青年会議所監事、小金井市トライアスロン連合会長、子ども達を薬害から守る実行委員会事務局長、小金井新能理事等を務める。

西岡真一郎ホームページ
ブログ毎日更新中!
都議会西岡 で検索下さい!



●東京都庁連絡先
〒163-8001
新宿区西新宿2-8-1 議事堂5F 都議会民主党
電話 03-5320-7230/FAX 03-5388-1784

●小金井事務所連絡先
〒184-0004 小金井市本町1-6-2 アリスビル1F
電話 042-386-5771/FAX 042-386-5773
mail: DZG01370@nifty.com

ご意見欄 都政や小金井市の事等、ぜひお気軽にご意見をお寄せ下さい。送信先▶FAX:042-386-5773、又はmail:DZG01370@nifty.com

| | | |
|-----|-----|-----|
| お名前 | ご住所 | お電話 |
|-----|-----|-----|